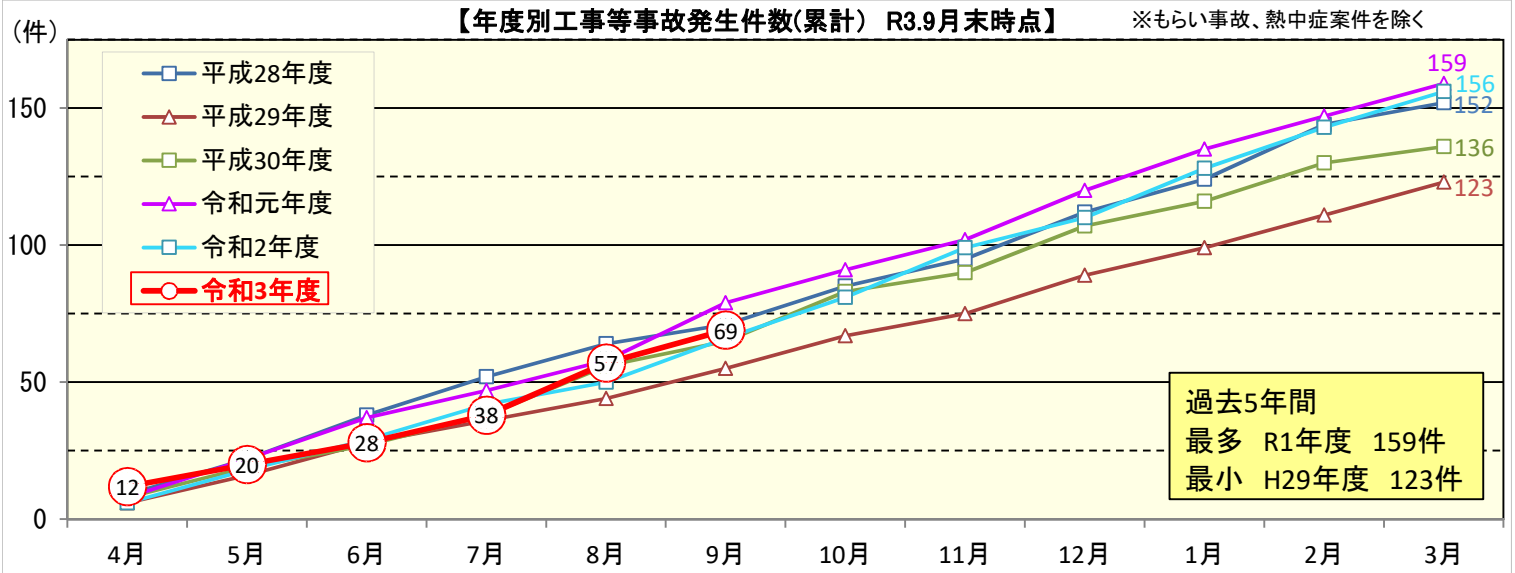


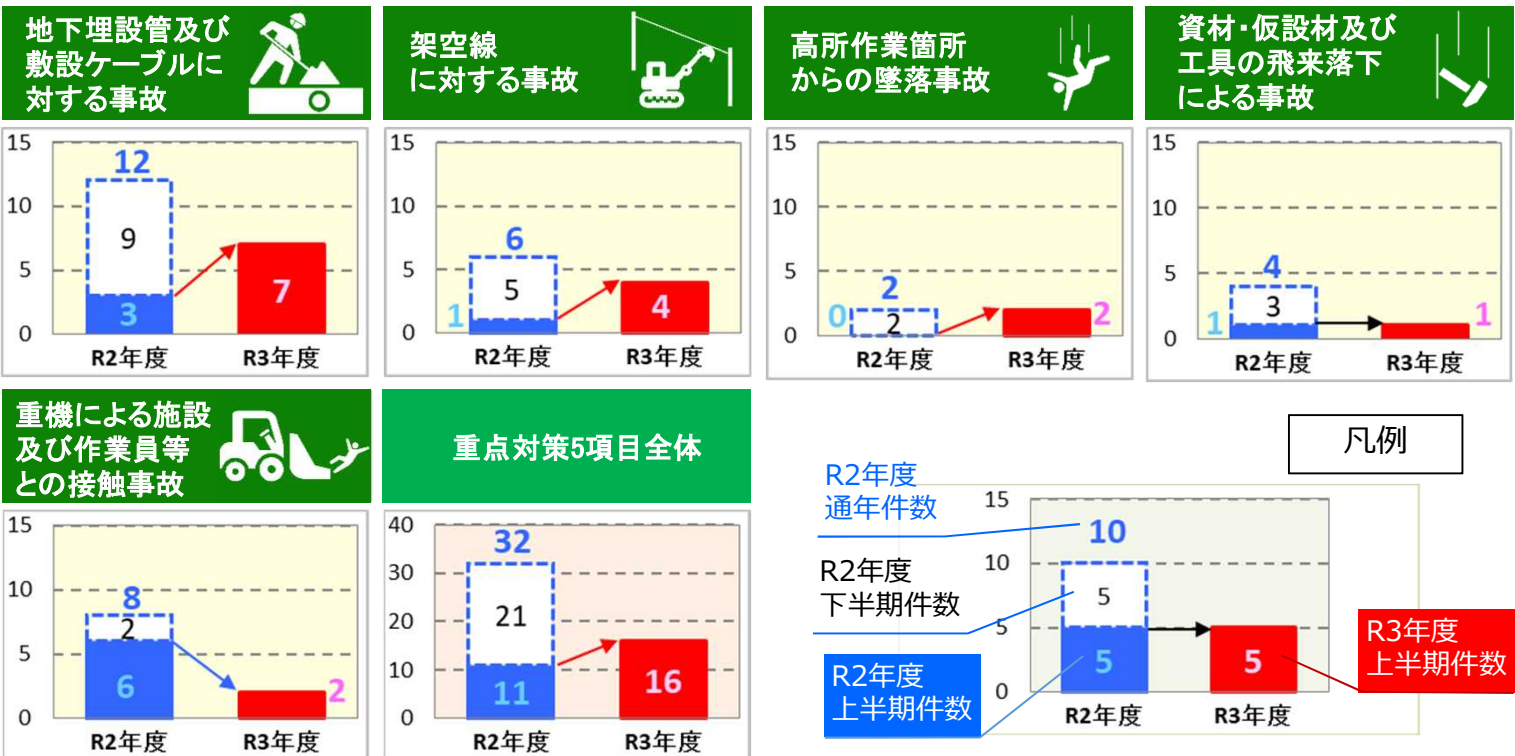
上半期の事故発生状況（速報値）

令和3年度上半期（4月～9月）における近畿地方整備局管内直轄工事等の事故発生件数、及び工事等事故防止重点対策5項目の事故発生件数を報告します。



令和3年度は、4月と8月に多数の事故が発生した結果、**上半期の事故発生件数は69件**となりました。また、69件のうち2件は、死亡事故（令和2年度は上半期ゼロ）であり重大事故が多くなっているため、**安全への意識の高揚と継続が必要**です。

令和3年度工事等事故防止重点対策5項目の発生件数（速報値）



重点対策5項目では、高所からの墜落により死亡事故が発生しました。接触事故が昨年度より大幅に少なかった一方で、地下埋設管および埋設ケーブル事故、架空線事故、墜落事故が多数発生しました。地下埋設管及び敷設ケーブル、架空線事故は公衆への大きな影響を及ぼしかねません。

架空線事故については、バックホウの移動中や土砂置場などの主たる作業現場外で発生しています。**主たる作業現場だけでなく移動も含めた点在する全ての作業現場において上空に電線等の架空線施設がないか確認を確実に行いましょう。**

引き続き現場の安全対策に取り組み、下半期では事故ゼロを目指しましょう！

除草作業時の飛び石に注意！

～ 対策を講じていても飛び石事故が発生することがあります ～



飛散防止ネットによる飛び石防護対策や作業手順通りに作業を行っていたにも関わらず飛び石事故が発生しています。

過去にも、擁壁に当たったの跳ね返り、飛散防止ネットの上を超えた事象事例、草刈機刈刃と飛散防止ネットの位置が適正ではなかった事象事例などがあります。今一度、除草作業時の飛び石対策の見直しや、安全教育を周知徹底しましょう。

現場の状況に合わせて、作業方法や作業器具を適宜変更しましょう

上下逆回転式刈刃

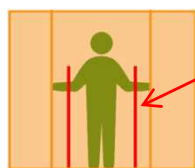
上刃：右回転



下刃：左回転

- 住宅や道路のそばなど、特に慎重な作業が必要な場所では、飛び石を抑えるため**刈刃の回転数を落とす**など、現場状況に合わせた方法で作業しましょう。
- 慎重な作業が必要な場所では、飛び石の飛散の低減が期待できる**上下逆回転式刈刃に交換**するなど、作業器具を変更するようにしましょう。
- 2車線以上ある道路では、除草作業と通行車両との離隔をとるための**1車線規制の実施も検討**しましょう。
- 雨天後や朝霧などで湿っていて足元が不安定で滑りやすい場合もあるので、**足元にも十分注意**しましょう。

飛散防止ネットは適切に配置しましょう

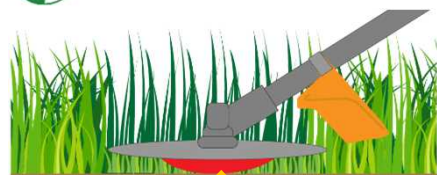


刈刃の作業範囲の目印として線を印す

この範囲に刈刃が入るように飛散防止ネットを配置する

- 除草作業は、飛散防止ネットと草刈機が同時に移動しながら行うため、互いの位置がズれることがあります。**飛散防止ネットに刈刃の作業範囲の目印をつけ、作業員が刈刃と飛散防止ネットの位置関係を把握しやすいようにする**など、飛散防止ネットを適切に配置できるようにしましょう。
- また、ネットの網目から石が飛ばないように、**細かな網目のものにする、ネットを2重**にして2枚目は1枚目に対して斜めに張るなどしましょう。

飛び石を発生させないように、補助器具を活用しましょう



刈刃が地面に接地しないようにする器具を装着

- 草刈機が地表面の小石等に接触して飛散するのを防ぐため、**刈刃が直接地表面に接触しないようにする補助器具を装着**しましょう。
- メンテナンス不足は事故に繋がります。補助器具も定期的に摩耗具合を確認し、適切なメンテナンス・交換を行いましょ。

第三者への安全措置を適切に行いましょう



- 作業案内看板、規制標識、コーンなど、周辺住民や通行者等に除草作業中であることを知らせるための**保安設備の設置**。**交通誘導員の配置**を行いましょ。
- 道路に接した場所で作業を行う場合には、車両や通行者の有無を確認し、**近づいてきた時はできる限り一旦作業（刈刃の回転）を停止**して通過を確認してから作業を再開しましょ。

肩掛式草刈機は広く普及している工具ですが、飛び石や刈刃によるキックバックなど特有の危険があります。これらを十分に理解して、事故なく安全に使用しましょ。

